

## 公共交通機関の利用について（お知らせ）

感染状況に鑑み、公共交通機関の利用に不安を抱いている学生の皆さんも少なくないと思います。

バスを含め、公共交通機関利用にあたっては、以下の5項目が感染予防対策の基本です。

1. マスクを着用する
2. 過密乗車を避ける
3. 乗車中の会話を控える
4. 目、鼻、口は何が何でも触らない
5. 降車後（キャンパス入構後）に手洗いをする

本学への路線を有する宮城交通株式会社から、感染対策に関わる情報を提供していただきましたので、紹介します。公共交通機関における対策について理解し、利用者がとるべき行動をすることが感染予防につながります。以下のいただいた情報を理解・活用し、ぜひ実践してください。



宮城交通グループでは、より多くのお客様に心地よく笑顔でご乗車していただけますよう、「スマイルバスライド」を実施しております。



## **宮城交通株式会社より提供いただいた情報**

新型コロナウイルス感染予防のため、当社グループでは、主に次の対応を実施しております。

### 一般路線バス

- ・バス車両使用の都度、車庫においてバス車内（つり革、握り棒、床等）を消毒しております。
- ・換気のため右側前部と左側後部の窓を開けながら運行しております。（雨天時除く）
- ・換気のためバス停に停車した際は前扉と中扉を開けます。
- ・掲示物によりお客様へバス車内での咳エチケットのご協力をお願いしております。必要に応じ音声放送も活用しております。
- ・運行前後および休憩中には可能な限りバス車内を換気しております。

### 高速バス

- ・バス車両使用の都度、車庫においてバス車内（手すり、ひじ掛け等）を消毒しているほか、運行毎にアルコール消毒液の噴霧によりバス車内の消毒を行っております。
- ・換気のため換気扇を使用しながら運行しております。
- ・掲示物によりお客さまへバス車内での咳エチケットのご協力をお願いしております。
- ・運行前後および休憩中には可能な限りバス車内を換気しております。

### 高速バス（夜行便）

- ・車内ではマスクを着用していただきます。
- ・車内（入口付近）に手指消毒用アルコールを設置しております。
- ・座席ブランケットサービスを休止しております。

### その他

- ・乗車券、定期券販売窓口アルコール消毒液を設置しております。
- ・運転士、窓口係員を含む全従業員にマスクの着用を指示しております。

### お客様へのお願い

- ・マスク着用、手洗い、アルコール消毒や咳エチケットにご協力をお願いいたします。
- ・息苦しさ、強いだるさ、高熱等の強い症状がある方はご乗車をご遠慮ください。

### 一般社団法人より公共交通利用者の対策について

「人々が集まるバスや電車は危ないのでは？」との不安から、公共交通の利用が敬遠される事態が懸念されます。あるいは、すでに敬遠されているのかもしれませんが、つきましては、JCOMMでは、人々のそのような不安を少しでも緩和し、安心して、安全に公共交通を利用してもらうために、ウイルス学がご専門の京都大学 宮沢先生にご監修いただき、「安全な公共交通の乗り方ポスター」を作成し、公表しました！

新型コロナにうつらない、  
うつさないために、今、できること。

バス・電車・  
タクシーは、

この **3** つ

を守れば  
**感染リスク**は  
ほとんどありません!

監修:宮沢 孝幸 助教授  
京都大学ウイルス・再生医科学研究所



**1** 常に  
しっかり  
換気!

これで「空気感染」リスクは  
ほぼゼロ!



**2** 「目・鼻・口」は  
何が何でも  
触らない!

これで「接触感染」リスクは  
ほぼゼロ!



**3** お静かに…。  
話すなら  
小聲で「マスク」!

これで「飛沫感染」させる  
リスクはほぼゼロ!



もちろん、「咳エチケット」も大切です。★咳やくしゃみは手でおさえず、上唇の内側や袖(そで)で覆いましょう。



JCOMM 発行:一般社団法人 日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)